



国際通貨基金

コミュニケー
ション局

プレスリリース No. 16/67
即時解禁
2016年2月19日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

メキシコ中央銀行総裁であり国際通貨金融委員会議長のアグスティン・カルステン ス氏の声明

メキシコ中央銀行総裁であり国際通貨金融委員会 (IMFC) 議長のアグスティン・カルステンス氏は本日、以下の声明を発表した。

「クリスティーヌ・ラガルド氏がさらに5年間の任期の国際通貨基金専務理事として再任されたことを祝させていただきます。

ラガルド専務理事はこれまで世界経済の試練の時にあって、IMFを力強くかつ大変効果的にけん引してきた。専務理事の皆を奮い立たせ、かつ戦略的な仕事ぶりは、全世界の加盟国を支援する様々な活動においてIMFの能力を再活性化させた。私もIMFCの同僚も、ラガルド氏が国際通貨・金融システムを強化する世界的な努力でIMFが中心的な役割を果たすことを確実にするため、揺るぎなく素晴らしいリーダーシップを発揮し続けることを確信している。

本日、ラガルド専務理事とお会いし、世界経済の成長や信認のかさ上げと脆弱な部分への対処のために、強力で広範な政策対応の必要性について意見の一致をみた。今後IMF加盟国の必要とするところに応え、世界の安定を促進するために、IMFCの同僚とともにラガルド専務理事と緊密に協力していくことを待ち望んでいる。IMFCは4月15、16日のワシントンDCでの次回の会合で、世界経済の現状と試練、さらにIMF戦略の方向性について議論する機会を得ることになる」